

札教生第 516 号

平成 25 年 (2013 年) 11 月 25 日

札幌市 P T A 協議会

会長 飯田 宣充 様

札幌市教育委員会

教育長 町田 隆敏



平成 26 年度「札幌市文教施策に関する要望書」への回答について

初冬の候、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から本市の教育行政に格別の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成 25 年 10 月 21 日付けで提出がありました標記の要望書につきまして、別紙のとおり回答いたします。

札幌市PTA協議会

「平成 26 年度札幌市文教施策に関する要望書」に対する回答書

関係課

要望内容	回 答
(1)学校教育に関して	
【少人数学級に関して】	
1 小中学校全学年において、少人数学級（35人以下）の早期実施を切望いたします。	<p>これまでも、国及び道に対して要望しておりますが、今後も、国及び道教委に早期に少人数学級を実施するよう要望してまいります。</p> <p style="text-align: right;">教職員課（人事担当）</p>
【教員に関して】	
1 少人数指導の充実を図るため、加配教員（TT教員等）の増員を希望いたします。	<p>加配教員の配置につきましては、北海道教育委員会の基準により行っております。</p> <p>各学校の事情を踏まえ、北海道教育委員会に加配を要望しており、今後とも強く要望していきたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">教職員課（人事担当）</p>
【英語教育に関して】	
1 英語教育の充実を図るため、ALTの派遣時間増を希望いたします。	<p>本市のALT（外国語指導助手）につきましては、毎年、計画的に増員を進め、平成 25 年度の総数は 73 名となっております。また、小学校への配置日数の増加とALTとの授業回数の均等化を図っているところです。</p> <p>今後につきましても、小学校及び中学校におけるALTの活用の充実を図ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課（研修担当）</p>
【スクールカウンセラーに関して】	
<p>1 スクールカウンセラーの増員と配置時間増を希望いたします。</p> <p>2 すぐに対応できる体制づくりを希望いたします。</p>	<p>スクールカウンセラーの配置時間については、早期からの相談を充実するために、小学校への配置時間を拡充する計画で事業を進めているところです。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課（指導担当）</p> <p>学校におけるスクールカウンセラーの活用件数は増加傾向にあり、スクールカウンセラーは学校の教育相談体制において重要な役割を担っていると捉えております。今後ともスクールカウンセラーをより有効に活用できるよう、教育相談体制の充実に向けてまいります。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課（指導担当）</p>

<b>【特別支援に関して】</b>	
1 特別支援学級及び普通学級に在籍する特別支援を必要とする児童・生徒を支援するため、加配教員の適正な配置を希望いたします。	<p>加配教員の配置につきましては、北海道教育委員会の基準により行っております。</p> <p>各学校の事情を踏まえ、北海道教育委員会に加配を要望しており、今後とも強く要望していきたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">教職員課（人事担当）</p>
2 通級指導教室（まなびの教室）の増設と加配教員の増員を希望いたします。	<p>まなびの教室につきましては、平成21年度に開設以降、毎年増設してきたところであります。通級指導教室の教員については加配によるものであることから、加配教員の増員について、北海道教育委員会に要求して参りたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課</p>
<b>【学びのサポーターに関して】</b>	
1 普通学級における軽度発達障がい児への支援のため、学びのサポーターの更なる利用時間の拡大を希望いたします。	<p>学びのサポーターにつきましては、これまで、対象学校数の拡大を行ってきたところであり、時間数等につきましても各学校の実情に応じて弾力的運用に努めてきたところであります。</p> <p>学びのサポーターによる支援は、各学校における特別支援教育の推進に大きな役割を果たしていることから、今後につきましても、本事業の充実を図って参りたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課</p>
<b>【スキー授業に関して】</b>	
1 家庭の経費負担を軽減するため、スキーリサイクル事業の更なる充実を希望いたします。	<p>昨年度までの市内のスポーツ販売店でのリサイクルスキー回収から、今年度は販売店とともに各区の小中学校一校における回収を実施しました。引き続き、回収場所の拡充や回収方法などについて検討し、事業の拡大に努めます。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課（指導担当）</p>
<b>【武道に関して】</b>	
1 外部サポーターの導入などによる安全確保の徹底を希望いたします。	<p>武道の指導における安全確保の徹底については、今年度、市立中高等学校全校を対象とする柔道指導者研修会にて頭頸部の専門医を講師に招いて講義を行う他、札幌市教育センターの研修講座において指導力向上を目的とした研修を実施しております。</p> <p>今後も専門的な研修を実施するなどして安全な指導が徹底できるよう努めてまいりたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課（指導担当）</p>

### 【土曜日授業に関して】

1 平日の子どもの負担軽減を図るため、土曜日授業の再開を希望いたします。

現在、公立学校においては、学校週5日制の下、学校教育法施行規則の規定に基づき、土曜日を休業日としております。ご要望の、平日の授業時数を減らし、土曜日授業を再開することにつきましては、国において制度改正が必要なことであります。

教育委員会としましては、現行の学校週5日制の下では、土曜授業を導入するのではなく、学校、家庭、地域の連携による取組を進め、多様な学習や体験活動の機会など、豊かな教育環境の充実に努めていくことが大切であると考えております。

なお、現在、国において、土曜日における教育活動の理念や、土曜授業の在り方等について議論を進めていることから、教育委員会としては、この動向を注視してまいりたいと考えております。

教育推進課（指導担当）

### 【学校区について】

1 現在の学校数を維持するため、指定変更区域の拡大を希望いたします。

少子化等の影響により学校の小規模校化が進んでいる中で、地域によっては、現在の学校数を維持しつつ子どもたちに良好な教育環境を提供していくことが困難な状況にあります。

そのため、札幌市では「札幌市立小中学校の学校規模の適正化に関する基本方針」を策定し、対象地域において学校規模の適正化の取組を進めておりますが、その手法としましては、指定変更区域の設定よりも、通学区域の変更や学校統合により行うことが適当であると考えております。

計画課

### 【学校図書館に関して】

1 専任司書（学校図書館司書）の配置と増員を希望いたします。

今年度より、市内中学校1校に学校司書を配置し、調査研究をしています。その中で、子どもたちの読書活動が豊かになるなどの有効性について認識しているところです。現在の配置校における取組を通して、学校司書と司書教諭や学校図書館ボランティア等との連携の在り方について引き続き検証していきます。

教育推進課（指導担当）

**【いじめ問題に関して】**

1 いじめの早期発見、早期対応を図るため各種対策事業の更なる充実を希望いたします。

いじめの問題については、未然防止と早期発見、早期対応が重要であり、各学校においては「悩みやいじめに関するアンケート調査」の実施などをおおして、いじめの早期発見、早期対応に努めているところ です。

また、子どものいじめ・自殺予防対策総合プロジェクト事業などにおいて、「命の大切さを見つめ直す月間」を設定するなどして子どもが気軽に相談できる教育相談体制の構築や子どもが主体的にいじめ根絶等の取組を進める取組などを推進してまいりたいと考えております。

教育推進課 (指導担当)

**【部活動に関して】**

1 部活動の指導者(教員・外部顧問)の増員と指導手当の更なる増額など待遇改善を希望いたします。

教員に対して支給する部活動の指導に関する手当は、道教委で定めた条例に基づいて支給しております。今後、道教委に対して要望をしていきたいと考えております。

教職員課

2 全道・全国大会出場時の遠征費補助の維持を希望いたします。

今後も充実した部活動費補助の実現を目指し、関係各所に働きかけをしていきます。

教育推進課

**【幼稚園に関して】**

1 全幼稚園における預かり保育の利用条件緩和と時間延長の早期実現を希望いたします。

市立幼稚園の預かり保育については、幼児の生活の連続性や子育て支援の観点から、幼稚園における望ましい預かり保育の在り方について検証しているところですが、就労等、様々な家庭の状況に応じた預かり保育の26年度中の実施を目指して、制度内容を検討しているところ です。

教育推進課 (幼児教育センター担当)

2 園児の登園・降園時の安全確保を希望いたします。

市立幼稚園では、園バスや駐車場が無いことから、園児募集案内に保護者の送迎が必要、遠距離の通園について安全面・幼児の体調面からも考慮していただきたい等を掲載し、それらをご理解のうえ入園していただいております。しかしながら自家用車で通園せざるを得ない家庭もあるため、駐車場の確保については保護者や地域の方のご協力をいただきながら各園で対応しているところ であります。

教育推進課 (幼児教育センター担当)

<p>3 正規教諭の新規採用を希望いたします。</p> <p>4 幼稚園における、幼児教育支援員の増員を希望いたします。</p>	<p>市立幼稚園につきましては、国における認定こども園の考え方を踏まえた上で、今後の札幌市としての幼児教育のあり方を検討していくこととなります。</p> <p>正規教員の新規採用につきましては、その上で検討してまいりたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">教職員課（人事担当）</p> <p>幼児教育支援員については、平成22年度より各区に1名加配され、市立幼稚園教諭がその役割を担い、区内の幼児教育推進に係る様々な業務を行っております。特に地域教育相談は、ニーズが多く、相談件数も増加しております。</p> <p>今後も、各区の状況に合わせた効率的な幼児教育支援員の体制について工夫、検証し、必要な人員数等を検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課（幼児教育センター担当）</p>
<p><b>【安心安全について】</b></p>	
<p>1 安全・安心な通学路の整備に向けた働きかけの強化を希望いたします。</p> <p>2 家庭や地域との連携による防災体制を確立するため、学校防災マニュアル等の周知への働きかけを希望いたします。</p>	<p>教育委員会としても、通学路の安全確保に向け、冬期間の除排雪を含むハード面での安全対策について、道路管理者や警察等の関係機関に対して通学路の状況に応じた安全対策を講じるよう、引き続き要請をしてまいりたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">計画課</p> <p>学校の防災体制については、緊急時の学校から家庭への連絡、避難場所等の運営、学校再開へ向けての対応等、家庭や地域との連携が重要であることから、家庭や地域への防災体制の周知や連携した取組を進める必要があると考えております。</p> <p>今後も学校と家庭及び地域が緊密な連携を図ることができるよう働きかけてまいりたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課（指導担当）</p>
<p><b>【学校支援に関して】</b></p>	
<p>1 学校と地域を結ぶコーディネーターの配置を希望いたします。</p>	<p>学校・家庭・地域が連携を図り、子どもたちの健全育成を推進する取り組みとして、学校図書館地域開放事業と学校・地域連携事業を実施しております。</p> <p>いずれの事業もコーディネーターの役割はPTAのボランティアや教職員が担っておりますが、更なる地域の人材の活用によるコーディネーターの配置など、学校と地域の連携の仕組みづくりを検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">生涯学習推進課</p>

(2)施設設備に関して

【トイレに関して】

1 全幼小中学校におけるトイレ洋式化のより積極的な実施及び更なる設置率の向上を希望いたします。

トイレの洋式化につきましては、「暗い・臭い・汚い」といういわゆる3Kの解消に向けたトイレの全面改修に併せて行っており、今後も、トイレの全面改修に併せてトイレの洋式化を図っていきたいと考えております。

計画課

【バリアフリー化に関して】

1 全幼小中学校における校園内のバリアフリー化の早期実施を希望いたします。

学校のバリアフリー化につきましては、改築や大規模改造等の際に、整備を進めており、車いすを使用する児童生徒が入学した際には、その都度整備を行っております。

今後も、引き続き、学校のバリアフリー化の整備を進めてまいりたいと考えております。

計画課

【子どもの居場所づくりについて】

1 放課後や休日における子どもの居場所づくりの更なる推進のため、関係機関に対し、積極的に働きかけていただくよう希望いたします。

子ども居場所づくりの充実において、児童館やミニ児童館を所管する子ども未来局や、各文教施設を所管する部局など、関連する機関との連携が重要であるとと考えております。

今後も、要望に対する働きかけや、連携を図っていきたいと考えております。

生涯学習推進課

(3) 予算に関して

【教育関連予算に関して】

1 教育関連予算の削減をしないよう札幌市及び関連機関に対し、積極的に働きかけていただくよう希望いたします。

本市の厳しい財政状況の中、教育委員会としても、より充実した教育環境の実現を目指し、今後とも必要な予算の確保のため、関係機関に働きかけていきます。その際には、貴協議会や教育現場等からのご意見を反映させたいと考えておりますので、今後ともご理解とご協力をお願いします。

総務課

【読書活動推進事業に関して】

1 読書活動推進事業に係る予算の更なる増額を希望いたします。

図書購入予算につきましては、札幌市の厳しい財政状況の中、廃棄により本が減少した学校などには、重点的に予算措置を行い効率的に蔵書の充実を図るとともに、全校で達成いたしました学校図書館図書標準の継続を維持してまいります。

また、ボランティア団体と提携した「さっぽろ本の再活用パートナーシップ事業」についても引き続き実施し、家庭等で不要となった図書を有効に活用することで更なる蔵書充実を図ります。

開放図書館地域開放事業についても、読書活動の推進に欠かすことが出来ないものと考えております。委託基準の見直しなども行いながら、事業の充実を進めていきたいと考えております。

管理課

生涯学習推進課

【PTA活動に関して】

1 現状の基盤維持及び強化のため、今年度と同様の助成を希望いたします。

貴協議会が行う学校・家庭・地域等との連携による教育力向上の取り組みや子どもの健全育成のための諸事業は、本市の社会教育施策に大きく寄与し欠かせないものとなっており、今後もその支援に力を尽くして参りたいと考えております。

しかしながら、本市の財政状況も厳しさを増しており、今後、補助基準額や補助対象経費などの見直しを求められており、自主財源の確保や組織運営の効率化など一層の財政基盤の強化、効果的な活動を進めていただきたいと考えております。

生涯学習推進課